



タレント ヒロミさん×富岡市長

富岡勝則市長と、さまざまな芸能活動のほか、ご自身でもクレー射撃をされているヒロミさんとの「東京2020オリンピック・パラリンピック対談」が実現しました。

富岡市長（以下市長） 本日はお忙しいところありがとうございます。よろしく願います。

ヒロミ こちらこそよろしく願います。

市長 東京2020オリンピック・パラリンピックでは、陸上自衛隊朝霞訓練場で射撃が開催され、東京2020大会で一番早くメダルが決まる競技ということもあり、大変注目されると思います。また、県内唯一となるオリンピックとパラリンピック両大会の聖火リレー通過や、出立式、東京2020ライブサイトなど多くの公式イベントを本市で開催できることは大変光栄なことと考えております。

ヒロミ 僕もクレー射撃を27年位やっているのですが、少しでも応援できたらなと思っています。本当はオリンピックに出たかったのですが、（笑）聖火リレーは、僕は八王子出身なのですが、今のところ（聖火ランナー選出について）声かけは来てないですね。（笑）

—ヒロミさんはクレー射撃をされているということで、テレビ番組などで、その魅力を伝えてくださっています。クレー射撃を始められたきっかけを教えてください。

ヒロミ 射撃自体は芸能界の先輩方

がたくさんやってらっしゃったこともあって、僕も20代には始めていました。射撃は高級なスポーツみたいな感じがあって、銃を取り扱うための資格とか日本はすごく厳しいのですが、スポーツとしても興味として、すごくいいものだと思います。

—クレー射撃の面白さや魅力は、どんなところでしょうか。

ヒロミ 人って目で見たものと脳の指令と自分の行動にズレがあって、最初はなんで当たらないのか、なんで当たったのか、全然分からないんです。そのズレを感じながら撃ち込んでいくのがクレー射撃の面白さだと思います。僕もいまだに、なぜ今当たったのかとかは、感覚でしかわからないんですけどね。





市長 私もクレー射撃について勉強をしたんですが、難しそうですね。海外の方だと小さい頃からやっていますから、その感覚が身に付くんではないでしょうか。

ヒロミ 海外の代表選手は10代だったりしますが、日本では、射撃は20歳からしかできないですからね。でも逆に、そういう競技は他にはないと思います。

市長 射撃に年齢はあんまり関係ないんですか。

ヒロミ 僕は年齢は関係ないと思うんですよ。射撃場にいるおじいちゃん達は「おい、東京(2020大会)がだめなら、パリのために頑張るねえとな。」なんて言ったりして。面白いスポーツなんです。

市長 いくつになっても夢を持つところが大切ですね。

ヒロミ そうなんです。大人になつてからオリンピックに出たいと思つたとき、可能性は0%じゃないところも魅力ですね。

— 今回の大会開催にあたって、子どもたちの記憶に残るような機会といふのはありますか。

市長 この大会では、本市の取り組みの一つとして、朝霞市おもてなしボランティアを募集しまして、たくさんの中高生の皆さんからお申し込みをいただきました。そのほか、さまざまなイベントを考えていますので、皆さんにも参加していただければと思っております。

— ヒロミさんは、大会が子どもたちにとって、どんなものになればいいなという思いはありますか。

ヒロミ 子どもたちに、色々な競技を生で見たいですね。特に朝霞で行われる射撃は、ライセンスを持って射撃場に行かないとなかなか見られないもので、ぜひ子どもたちにも近くで見たいです。その子たちが将来オリンピックを目指すようなことになったりしたらすごくいいと思います。

— ヒロミさんは、お仕事柄、オリンピック選手やパラリンピック選手とお会いになることもあるかと思いますが、期待されている選手はいらっしゃいますか。

ヒロミ もう全員ですよ。色々な戦いを経て代表に選ばれた人ですから、頑張つてメダルを取ってもらいたいと思います。

市長 本市にもゆかりのある選手がいます。例えば、女子陸上短距離



走の土井杏南選手、女子バスケットボールの本橋菜子選手、射撃ライフルの清水綾乃選手、パラ・パワーリフティングの石原正治選手、シッティングバレーボールの波田みか選手など、市をあげて応援していますが、日本代表の方には皆さん頑張つていただいて、納得のいく成績を残していただければいいのかなと思います。

— では最後に、ヒロミさん、富岡市長から市民の皆さんに、オリンピック・パラリンピックに向けてのメッセージをお願いします。

ヒロミ 僕はオリンピックではありませんし、応援する側ですが、射撃をやっていると経験者の立場として、朝霞で射撃が行われることに少しでも力になればと思つています。とにかく現地で見てくださいね。かくいう僕は、チケットが当たらなかつたので、テレビで頑張つて応援しようと思つています。本日は会場で、世界の選手を見てみたいというのが、やはり日本の選手を応援したいというのがあります。

皆さんも応援されると思いますけれども、僕も頑張つて応援したいと思つています。

市長 昨年は、ラグビーワールドカップがありまして、日本のチームの活躍はもちろんです。各会場市でのおもてなしが世界中で非常に注目を浴びておりました。次は東京オリンピック・パラリンピックです。朝霞市でもさまざまなおもてなしを検討しており、市民の皆さんとも一体となつて世界中の方々へ魅力を発信していきたいと思つていますので、市民の皆さんにも、ヒロミさんにも引き続きご理解とご協力をいただきたいと思います。



ヒロミさん本当にありがとうございました。今回の対談の様子は動画でも配信をしています。ぜひご覧ください！



問/オリンピック・パラリンピック室

☎ 462-0801

【朝霞市特設サイト】

朝霞市の東京2020大会に関するイベントなどの情報を発信中！

